

【表紙】

| | |
|------------|------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 東北財務局長 |
| 【提出日】 | 平成30年2月13日 |
| 【四半期会計期間】 | 第39期第3四半期（自平成29年10月1日至平成29年12月31日） |
| 【会社名】 | エヌ・デーソフトウェア株式会社 |
| 【英訳名】 | ND Software co., Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 佐藤 廣志 |
| 【本店の所在の場所】 | 山形県南陽市和田3369番地 |
| 【電話番号】 | 0238(47)3477 |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員 経営企画部長 猪股 実 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 山形県南陽市和田3369番地 |
| 【電話番号】 | 0238(47)3477 |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員 経営企画部長 猪股 実 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第38期 第3四半期連結 累計期間 | 第39期 第3四半期連結 累計期間 | 第38期 |
|------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成28年 4月1日 至平成28年 12月31日 | 自平成29年 4月1日 至平成29年 12月31日 | 自平成28年 4月1日 至平成29年 3月31日 |
| 売上高 (千円) | 10,006,055 | 10,487,130 | 14,672,414 |
| 経常利益 (千円) | 500,764 | 789,730 | 1,484,482 |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円) | 282,802 | 491,929 | 923,644 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 307,745 | 494,025 | 944,489 |
| 純資産額 (千円) | 8,317,531 | 9,215,351 | 8,986,280 |
| 総資産額 (千円) | 15,812,495 | 17,406,738 | 17,900,017 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | 16.12 | 27.94 | 52.70 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | 16.04 | 27.91 | 52.43 |
| 自己資本比率 (%) | 51.4 | 52.1 | 49.2 |

| 回次 | 第38期 第3四半期連結 会計期間 | 第39期 第3四半期連結 会計期間 |
|-------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 会計期間 | 自平成28年 10月1日 至平成28年 12月31日 | 自平成29年 10月1日 至平成29年 12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 10.32 | 8.62 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容に重要な変更はありません。

なお、ヘルスケアサービス事業において、平成29年7月31日にアルファフーズ株式会社の株式を取得し、連結子会社としております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や個人消費に一服感があるものの、雇用・所得情勢は堅調に推移しており、緩やかな回復基調を維持しております。

こうした経済状況の下、当社グループのうち、ヘルスケア等ソフトウェア事業が属する介護・医療分野に関するソフトウェア業界の事業環境は、団塊の世代が全て75歳以上の高齢者となる2025年に向けて、医療、介護の役割分担と切れ目のない連携が求められており、その基盤整備のためのICTの利活用が推進されております。

受託開発等ソフトウェア事業における事業環境は、市場規模に大きな変化はないものの、ITの投資動向が従来の効率化のためのシステム導入から事業拡大や新規事業に対する戦略的IT投資へと徐々に変化してきております。

こうした事業環境の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高につきましては、ヘルスケア等ソフトウェア事業において、主力商品である「ほのぼのNEXT」の更新需要と他社製品からの切り替え需要が増加したこと等から、前年同期を上回りました。受託開発等ソフトウェア事業につきましては、金融分野において、効率化を中心としたIT投資が一巡したこと等もあり、前年同期を下回りました。

利益面につきましては、受託開発等ソフトウェア事業の売上が減少しましたが、上述のとおり、ヘルスケア等ソフトウェア事業の売上が増加したこと等から、前年同期を上回りました。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は10,487,130千円（前年同期比4.8%増）、連結営業利益は783,662千円（前年同期比58.1%増）、連結経常利益は789,730千円（前年同期比57.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は491,929千円（前年同期比73.9%増）となりました。

なお、セグメント別業績の概要は次の通りです。

ヘルスケア等ソフトウェア事業

ヘルスケア等ソフトウェア事業につきましては、前述のとおり、主力商品である「ほのぼのNEXT」の更新需要と他社製品からの切り替え需要が増加したこと等から、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,106,247千円（前年同期比6.9%増）となりました。

受託開発等ソフトウェア事業

受託開発等ソフトウェア事業につきましては、金融分野における需要停滞もあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,867,967千円（前年同期比2.4%減）となりました。

ヘルスケアサービス事業

ヘルスケアサービス事業につきましては、医科巡回診療サポートや人材派遣事業の売上増加により、当第3四半期連結累計期間の売上高は882,361千円（前年同期比49.9%増）となりました。

A S P事業

A S P事業につきましては、新規契約の伸び悩みにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は630,553千円（前年同期比6.7%減）となりました。

(2)財政状態の分析

当第3四半期連結累計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べ、493,279千円減少し、17,406,738千円となりました。

前述を踏まえた資産、負債及び純資産の詳細につきましては、次のとおりであります。

資産につきましては、流動資産は597,378千円減少し、固定資産は104,099千円の増加となりました。流動資産の主な減少要因は、売掛金の減少によるものです。固定資産の主な増加要因はソフトウェア等無形固定資産の増加によるものです。

負債につきましては、8,191,386千円となり、前期末比722,350千円の減少となりました。流動負債は775,175千円減少し、固定負債は52,825千円の増加となりました。流動負債の主な減少要因は、未払法人税の減少によるものです。固定負債の主な増加要因は、受注増加に伴う長期前受収益の増加によるものです。

純資産につきましては 9,215,351千円となり前期末比 229,070千円の増加となりました。主な要因は利益剰余金の増加によるものです。

(3)経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5)研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は390,627千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 70,000,000 |
| 計 | 70,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成30年2月13日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|---|-----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 17,854,968 | 17,854,968 | 東京証券取引所 市場第二部 | 単元株式数 100株 |
| 計 | 17,854,968 | 17,854,968 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減 額(千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|----------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成29年10月1日～ 平成29年12月31日 | - | 17,854,968 | - | 1,346,385 | - | 1,303,885 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため記載することができないことから、直前の基準日(平成29年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成29年12月31日 現在

| 区 分 | 株式数 (株) | 議決権の数 (個) | 内 容 |
|----------------|--------------------------|--------------|---------------------------------|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 222,300 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 17,630,700 | 176,307 | 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。 |
| 単元未満株式 | 普通株式 1,968 | - | 同上 |
| 発行済株式総数 | 17,854,968 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 176,307 | - |

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が800株含まれております。また、「議決権の数」には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数8個が含まれております。

【自己株式等】

平成29年12月31日 現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式総数 に対する 所有株式数の割合 (%) |
|---------------------|--------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| エヌ・デーソフト ウェア株式会社 | 山形県南陽市和田 3369番地 | 222,300 | - | 222,300 | 1.25 |
| 計 | - | 222,300 | - | 222,300 | 1.25 |

(注)第3四半期末現在の自己株式は222,334株であります。

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成29年10月1日から平成29年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|-----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,856,627 | 9,475,850 |
| 受取手形及び売掛金 | 14,369,714 | 12,769,712 |
| 商品及び製品 | 22,762 | 111,626 |
| 仕掛品 | 18,925 | 115,037 |
| 原材料及び貯蔵品 | 12,926 | 40,648 |
| その他 | 522,734 | 694,076 |
| 貸倒引当金 | 1,306 | 1,946 |
| 流動資産合計 | 13,802,384 | 13,205,005 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 739,911 | 794,062 |
| 減価償却累計額 | 193,485 | 213,598 |
| 建物及び構築物(純額) | 546,425 | 580,463 |
| 土地 | 232,499 | 237,360 |
| その他 | 618,863 | 660,282 |
| 減価償却累計額 | 367,907 | 430,399 |
| その他(純額) | 250,956 | 229,883 |
| 有形固定資産合計 | 1,029,881 | 1,047,707 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 680,504 | 829,781 |
| ソフトウェア | 1,011,036 | 1,236,232 |
| ソフトウェア仮勘定 | 312,656 | 51,633 |
| その他 | 6,569 | 7,999 |
| 無形固定資産合計 | 2,010,766 | 2,125,646 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 207,705 | 108,616 |
| その他 | 849,284 | 919,767 |
| 貸倒引当金 | 4 | 4 |
| 投資その他の資産合計 | 1,056,985 | 1,028,379 |
| 固定資産合計 | 4,097,633 | 4,201,732 |
| 資産合計 | 17,900,017 | 17,406,738 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 441,554 | 399,651 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 68,328 | 83,056 |
| 未払法人税等 | 555,799 | 27,804 |
| 前受金 | 233,737 | 278,121 |
| 前受収益 | 1,646,178 | 1,724,385 |
| 賞与引当金 | 609,623 | 294,875 |
| 役員賞与引当金 | 29,300 | 24,675 |
| その他 | 1,171,539 | 1,148,316 |
| 流動負債合計 | 4,756,060 | 3,980,884 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 68,068 | 49,318 |
| 役員退職慰労引当金 | 201,984 | - |
| 退職給付に係る負債 | 551,658 | 607,961 |
| 長期前受収益 | 3,199,416 | 3,259,566 |
| その他 | 136,548 | 293,655 |
| 固定負債合計 | 4,157,675 | 4,210,501 |
| 負債合計 | 8,913,736 | 8,191,386 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,312,937 | 1,346,385 |
| 資本剰余金 | 1,414,117 | 1,447,565 |
| 利益剰余金 | 6,309,930 | 6,494,244 |
| 自己株式 | 132,201 | 132,201 |
| 株主資本合計 | 8,904,783 | 9,155,993 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,781 | 11,728 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 103,007 | 94,062 |
| その他の包括利益累計額合計 | 94,226 | 82,334 |
| 新株予約権 | 22,915 | - |
| 非支配株主持分 | 152,808 | 141,692 |
| 純資産合計 | 8,986,280 | 9,215,351 |
| 負債純資産合計 | 17,900,017 | 17,406,738 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 10,006,055 | 10,487,130 |
| 売上原価 | 6,373,384 | 6,551,487 |
| 売上総利益 | 3,632,671 | 3,935,642 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,136,894 | 3,151,980 |
| 営業利益 | 495,776 | 783,662 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,688 | 3,697 |
| 受取配当金 | 1,196 | 1,173 |
| 業務受託料 | 3,240 | - |
| その他 | 8,987 | 9,664 |
| 営業外収益合計 | 16,111 | 14,534 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,932 | 6,073 |
| その他 | 3,191 | 2,393 |
| 営業外費用合計 | 11,123 | 8,466 |
| 経常利益 | 500,764 | 789,730 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 76 | 2,168 |
| 新株予約権戻入益 | 585 | 7,356 |
| 収用補償金 | - | 5,554 |
| 特別利益合計 | 662 | 15,079 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | - | 3,492 |
| ソフトウェア除却損 | 31,138 | 1,840 |
| その他 | 2,035 | 873 |
| 特別損失合計 | 33,174 | 6,205 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 468,252 | 798,603 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 176,980 | 316,470 |
| 四半期純利益 | 291,272 | 482,133 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失() | 8,469 | 9,796 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 282,802 | 491,929 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 291,272 | 482,133 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7,843 | 2,947 |
| 退職給付に係る調整額 | 8,629 | 8,944 |
| その他の包括利益合計 | 16,473 | 11,892 |
| 四半期包括利益 | 307,745 | 494,025 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 299,276 | 503,821 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 8,469 | 9,796 |

【注記事項】

(連結の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間において、アルファフーズ株式会社の発行済株式の全てを取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は従来、役員の退職慰労金に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額を「役員退職慰労引当金」に計上しておりましたが、平成29年5月12日開催の取締役会において役員退職慰労金制度の廃止を決議し、平成29年6月23日開催の定時株主総会において役員退職慰労金制度の廃止に伴う打ち切り支給を決議いたしました。

また、一部の連結子会社では平成29年5月取締役会において役員退職慰労金制度の廃止を決議し、平成29年6月開催の定時株主総会において役員退職慰労金制度の廃止に伴う打ち切り支給を決議いたしました。

これにより、第1四半期連結会計期間において「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、打ち切り支給の未払い額205,222千円を、固定負債の「その他」に含めて計上しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 売上債権流動化に伴う遡及義務は、次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|--|-------------------------|-------------------------------|
| | 56,136千円 | 65,539千円 |

2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日を持って決済処理しております。
 なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|------|-------------------------|-------------------------------|
| 受取手形 | - 千円 | 3,193千円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) |
|---------|--|--|
| 減価償却費 | 520,000千円 | 616,088千円 |
| のれんの償却額 | 106,617 | 113,179 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成28年6月24日 定時株主総会 | 普通株式 | 175,888 | 10 | 平成28年3月31日 | 平成28年6月27日 | 利益剰余金 |
| 平成28年11月11日 取締役会 | 普通株式 | 130,903 | 7.5 | 平成28年9月30日 | 平成28年12月5日 | 利益剰余金 |

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成29年6月23日 定時株主総会 | 普通株式 | 175,370 | 10 | 平成29年3月31日 | 平成29年6月26日 | 利益剰余金 |
| 平成29年11月10日 取締役会 | 普通株式 | 132,244 | 7.5 | 平成29年9月30日 | 平成29年12月5日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|---------------------------|------------------------|-----------------------|-----------------|----------|------------|-------------|-------------------------------|
| | ヘルスケア等 ソフトウェア 事業 | 受託開発等 ソフトウェア 事業 | ヘルスケア サービス事業 | A S P 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 4,777,770 | 3,963,901 | 588,807 | 675,576 | 10,006,055 | - | 10,006,055 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 22,384 | 619,696 | 777 | 61,939 | 704,797 | 704,797 | - |
| 計 | 4,800,154 | 4,583,598 | 589,584 | 737,515 | 10,710,853 | 704,797 | 10,006,055 |
| セグメント利益又は 損失() | 281,623 | 260,015 | 9,476 | 100,131 | 632,294 | 136,518 | 495,776 |

(注)1. セグメント利益の調整額 136,518千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用 184,133千円、セグメント間内部取引47,615千円であります。全社費用は、本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|---------------------------|------------------------|-----------------------|-----------------|----------|------------|-------------|-------------------------------|
| | ヘルスケア等 ソフトウェア 事業 | 受託開発等 ソフトウェア 事業 | ヘルスケア サービス事業 | A S P 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 5,106,247 | 3,867,967 | 882,361 | 630,553 | 10,487,130 | - | 10,487,130 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 47,555 | 320,496 | 1,149 | 61,743 | 430,944 | 430,944 | - |
| 計 | 5,153,803 | 4,188,463 | 883,510 | 692,296 | 10,918,074 | 430,944 | 10,487,130 |
| セグメント利益又は 損失() | 823,555 | 147,000 | 24,304 | 1,452 | 947,703 | 164,041 | 783,662 |

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額 164,041千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用 159,989千円、セグメント間内部取引 4,052千円であります。全社費用は、本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「ヘルスケアサービス事業」において、アルファフーズ株式会社の全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。

当事象によるのれんの増加額は、第3四半期連結累計期間において262,455千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) |
|---|--|--|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額 | 16円12銭 | 27円94銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円) | 282,802 | 491,929 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円) | 282,802 | 491,929 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 17,538,812 | 17,603,776 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 | 16円04銭 | 27円91銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円) | - | - |
| 普通株式増加数(株) | 89,418 | 24,228 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株 式で、前連結会計年度末から重要な変動があったも のの概要 | | |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成29年11月10日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- | | |
|-----------------------|------------|
| (イ) 配当金の総額 | 132,244千円 |
| (ロ) 1株当たりの金額 | 7.5円 |
| (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 | 平成29年12月5日 |

(注)平成29年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年2月9日

エヌ・デーソフトウェア株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

| | | | |
|--------------------|-------|-------|---|
| 指定有限責任社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 鎌田 竜彦 | 印 |
| 指定有限責任社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 田村 剛 | 印 |

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているエヌ・デーソフトウェア株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成29年10月1日から平成29年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、エヌ・デーソフトウェア株式会社及び連結子会社の平成29年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。